2025年信徒聖書講座
ディボーション(再)入門
～みことばを口ずさむ人になろう～

第8回　11月16日(日)

『ディボーショングループの始め方・持ち方』

講座日程と概要

9月21日(日)　第1回　なぜディボーション？　(聖書読みスタート)
9月28日(日)　第2回　なぜみことば？　(分ち合いスタート)
10月5日(日)　第3回　みことばを口ずさむ
10月12日(日)第4回　なぜ祈る？
10月19日(日)お休み
10月26日(日)第5回　イエス・キリストの模範
11月2日(日)　第6回　ディボーションと分ち合い
11月9日(日)　第7回　静まりと振り返り
11月16日(日)　第8回　ディボーション・グループの始め方・持ち方

これまで、ありがとうございました！

「ディボーション入門」講座の目的

1．日々のディボーションの(1つの)持ち方を理解し、体験すること。
2．日々のディボーションを習慣とし、続けていくこと。
3．みことば、祈り、分かち合うことの大切さを理解すること。
4．日々のディボーションを通して「今日のみことば」を受け取り／選び取り、一日を通してそれを口ずさむ人になること。
5．他の人のディボーションを励ます人になれること。
6．リーダーとなって、ディボーショングループを始めること。

この講座で教えられたディボーション

●特徴・・・簡単、続けやすい、「今日のみことば」

●ディボーションの持ち方(おさらい)

１．時と場所を選ぶ。

２．毎日、短めの聖書箇所を読む。ゆっくり、繰り返し。

３．「今日のみことば」を受け取る。1節、1句、1語。記録を取る。

４．一日の中で、「今日のみことば」を思い出し、口ずさむ。

＊「今日のみことば、何だっけ？」

＊「今日のみことば」を口ずさみ、短く祈る。思い巡らす。

５．夜、一日を振り返り、感謝をささげる。

この講座で教えられたディボーション(続き)

●このディボーションの良さ

1．読む箇所が短いので続けやすい。焦らず、ゆっくり読める。

2．今日のみことばを選び、一日の中で口ずさむことによって、ディボーションと一日がつながる。一日をみことばと共に／の中で、歩むことができる。

3．みことばを何度も口ずさむことにより、祈りが増えて、思い巡らしも深まる。結果的に、神との関係・友情が深まっていく。

4．今日のみことばを、毎日選び、口ずさむことにより、証しがしやすくなる。誰かと分ち合いたくなる。

●このディボーションの弱点

1．読む箇所をどのように短く区切るか、が難しい場合がある。短く区切る読み方が難しい書物もある。

2．聖書以外の書物を使用しないので、みことばの意味の理解が主観的になりやすい。

どの書を読む？　向き・不向きな書(私見)

●**このディボーションに向いている書**

➡短く区切りやすい書、「今日のみことば」を受け取りやすい書

1．新約聖書（福音書、使徒の働き、手紙、黙示録？）

2．詩歌書（詩篇、箴言、伝道者の書）

3．歴史書（ヨシュア記、士師記、ルツ記、エズラ記、ネヘミヤ記、エステル記など)

4．預言書（ダニエル書、小預言書・・・時代背景や解釈など、参考書が必要）

●**向いてない(？)書**

➡全体が長く、1章も長めの書。短く区切ることが難しい。

1．五書、歴史書(サムエル記、列王記、歴代誌)

2．大預言書（イザヤ書、エレミヤ書、エゼキエル書・・・参考書)

3．ヨブ記（大部分がヨブの友人数名のことば・・・すべてが正しいことではない)

ディボーショングループの始め方・持ち方

1．祈る。牧師と相談する。
2．だれと一緒にやるか、を考える。声をかける。教会内？他教会の方と？
3．読む書を決める。読むスケジュールを作る。（1日数段落など、短く区切る)
4．分ち合いの方法を決める。
　＊対面／Zoom・・・頻度を決める。毎週、隔週など。時間と場所を決める。
　＊メール・・・コメントをメンバー全員に送る。毎日、週一など。
　＊LINE・・・LINEグループを作って、そこに投稿する。
5．期間を決めて、期間限定でする。
6．小さく始める。とりあえずやってみる。お試しで。

※誰かが教える会、聖書を深く、詳細に学ぶ会ではなく、それぞれが聖書を読んで、
　各自がみことばから、「今日のみことば」を受け、恵みを受けられる会。

例）聖宣神学院教会～ディボーションの会

１．今年2月にスタート：牧師主導で。参加希望者で。

２．毎回期間限定で、これまで5回開催

第1回：マルコ／2～4月

第2回：詩篇1～50篇／5～8月

第3回：１＆２ペテロ／8～9月

第4回：ルカ1～6章／9～10月　　＊「ディボーション入門」

第5回：箴言1～8章／10～11月　　＊「ディボーション入門」

３．毎回、週報で案内し、参加者を募っている。最初は7名位でスタート。現在は13名。

４．分ち合いは、メール組とLINE組に分かれて。

＊メール組(牧師と2名)…メールで送られたコメントは牧師がLINEにも回している。

＊LINE組(牧師と10名)…LINEで送られたコメントは、牧師がメール組にも回している。

＊自分のコメントを分かち合いたい人がコメントを送っている。

＊コメントを送らない人も、送られたコメントは見れる

＊当初は1か月に一回は対面で分ち合いを、日曜日礼拝後に持っていた。

例）聖宣神学院教会～ディボーションの会（続き）

●10月24日(金)の分ち合い・私からのメール・・・この日の聖書箇所：ルカ6:41～45

皆様、おはようございます。

42節「自分の目にある梁が見えていない」「まず自分の目の梁を取り除きなさい。」

「見えていない」が心に留まります。自分で自分が見えていないということが

いつでもあり得ることを忘れないようにしたいです。ついつい人の欠点や言動の

足りない所に目が行き、さばいてしまいます。自分のことを忘れて。だから、

見えていないんだと思います。また、見えていないものを、どうやって気づいて

取り除くことができるのか、それも難しいなあと感じます。

今日も他人のちりのようなものが見えるかもですが、その時は、自分にもまだ

見えていないもっと大きな梁があるかもしれないことを思い出したいです。

見えていない自分の問題点が少しでも見えていくように。また少し見えている

問題点が、少しでもあわれみによって改善されていくようにと祈ります。

田辺寿雄

例）聖宣神学院教会～ディボーションの会（続き）

●10月24日(金)の分ち合い・私からのメール（続き）

LINE組コメント

●A姉

ルカ6:37　『赦しなさい。』

いつも私に赦す心を与えてください。主が私を赦してくださったように。

●B姉

ルカ6：37 ~40　40．　弟子は師以上には出られません、しかし十分訓練を受けた者はみな、自分の師ぐらいにはなるのです。十分訓練を受けた者は　みな、とありました。高齢の私には　大変　励みになりました。感謝いたします。今日も　みことばを口ずさみながら過ごしました　お守り　助けて頂きました。ありがとうございましました。感謝いたします。

●C姉

ルカ6:38　「あなたがたが量るその秤で、あなたがたも」み言葉を読む度に、自分の秤の器の小ささを感じます。自分を愛するように隣人を愛し、与え赦せるものとしてください。主の恵みによって。

例）聖宣神学院教会～ディボーションの会（続き）

●10月24日(金)の分ち合い・私からのメール（続き２）

●D姉

ルカ６：３７　さばいてはいけません。今から２０年以上前、「Dさんは、人をさばくよね。」とクリスチャンである職場の方に言われました。反論する余地はありませんでした。それから数年後、クリスチャンになりました。しかし、今でも人をさばいてしまう気持ちになります。ハッと気づいた時、このおことばと、ご指摘してくださった方を思いおこします。まだ、人をさばく気持ちになることがありますが、神さまに赦された者として、みことばに従う者に導いてくださいと祈りました🙏

●E姉

10/23　ルカ6:37～40　「十分に訓練を受ければ」

主をみて、主にならい、学ぶ。そしてそのように実行していくことを思いました。日常の生活の中でも、仕事でもその専門的なこと、また今までできなかったことも繰り返ししていくことにより、つながる、実ることがあります。鍛錬する！とよく言われますが私は日常の中でこの姿が足りないなぁーと思います。今日も主を見上げながら、示されていることを一つ一つ行いたいと思います。どうぞ、訓練してください。